

# 兵医広報

EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、  
私たちが  
いるかぎり

vol.  
**273**  
2026  
SPRING



SPECIAL

卒業生からの Message

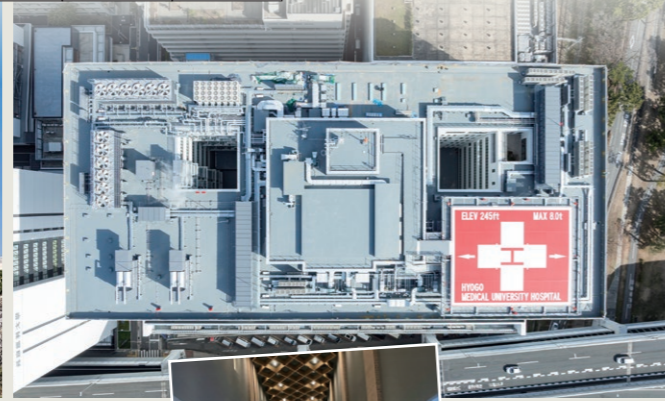


【発行日】2026年5月  
【発行元】学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課

GOOD NEWS!

## 建設だより

新  
病院棟



内装もいよいよ  
完成間近!



新病院棟の高層階を覆っていた落下防止幕が、3月末に撤去されました。  
これにより建物の全景をご覧いただけるようになり、  
秋の開院に向けて期待感がいっそう高まっています。  
新病院棟は5月15日に竣工を予定しており、  
開院に向けて着実に準備を進めてまいります。

## わたしに パワーを くれるもの。

EMPOWER THE PEOPLEのスローガンを掲げ、  
医療を通じて人を、  
そして社会をより良いものにするために、  
日々奮闘する職員たち。  
そんな彼らにとって、自身のパワーをみなぎらせるものとは。



井石 智也  
ISEKI TOMOYA  
兵庫医科大学  
整形外科  
講師

### 庭のバラに、ふと足を止める時間

友 達とのゴルフや気の  
合う仲間との飲み会  
もそうですが、自宅の庭で妻  
が育てているバラを眺める  
ことが、私にとってリフレッ  
シュの時間になっています。  
車を止めて玄関まで歩く  
ほんの短い時間でも、つい  
立ち止まって花を見てしまいます。忙しい毎日の中で、ふっと気  
持ちが落ち着く瞬間です。子どもたちと一緒に水をあげたり、  
季節ごとに変わる花の表情を楽しんでいると、医療や研究と  
同じように、少しずつ時間をかけて育てることの大切さを感じ  
ます。このようなちょっとした時間が、また新しい気持ちで仕事  
に向かうための元気になっています。





森村賞  
受賞

医学部医学科 中村 雛子

多くの仲間と出会い、ともに励むことができた6年間  
恵まれた環境の中で、先生方をはじめ、家族や友人など多くの方の  
支えがあり、このような賞をいただけたのだと感じています。感謝の  
気持ちを忘れず、今後も医学を学び続け、患者さんと医療者の方々  
から信頼される医師となれるよう努力してまいります。



森村賞  
受賞

薬学部医療薬学科 水落 理音

多くの支えに感謝し、これからも挑戦を続ける  
この度は森村賞をいただき、大変光栄に思います。熱心にご指導いた  
だいた先生方や仲間、そしていつも見守り支えてくれた家族のおかげだと  
深く感謝しております。6年間で培った知識と経験を生かし、患者さんの  
生活背景に寄り添い共感できる医療人を目指して日々精進していきます。



学んだこと、気づいたこと、  
楽しかったこと、悔しかったこと。  
母校で何を感じて、  
未来でどんな自分になりたいですか？

# 卒業生からの Message

二〇二五年度 第四十九回  
兵庫医科大学  
卒業式・学位授与式  
会場 ポートビオホール



森村賞  
受賞

看護学部看護学科 廣瀬 晴菜

支えに感謝し、心に寄り添える温かい看護師へ  
このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思います。4年間を共  
に過ごした友人や先生方、職員の皆さま、家族の支えがあってこそと  
深く感謝しています。今後も感謝の気持ちを忘れず、相手のことを  
思いやることのできる温かい看護師を目指し、日々精進していきます。



森村賞  
受賞

リハビリテーション学部作業療法学科 日下 花音

多くの経験を胸に、信頼される医療人へ  
この度は栄誉ある賞をいただき、心より感謝申し上げます。4年間、  
課題に真摯に取り組み努力し続けた結果だと実感しています。実習や  
地域交流、学会発表などの経験、そして先生方や仲間との日々は大切  
な財産です。信頼される医療人を目指して今後も精進していきます。

仲間たちと学び、  
高め合えたことが一番の宝物



医学部医学科 松原 優斗

医学的な側面だけでなく、  
心理社会的な側面からも  
患者さんの役に立てる医  
療人でありたいと考えてい  
ます。また、このような賞  
をいただいたことを大変  
光栄に思うとともに、好き  
なだけ学ばせていただいた  
環境と支えてくれた家族  
に感謝し、今後はその恩  
を還元していきます。

兵医での経験を糧に、  
看護の現場へ踏み出す



看護学部看護学科 富田 彩貴

このような素晴らしい賞を  
いただき、大変光栄に思  
います。先生方や友人、多  
くの方々の支えがあってこ  
そと感じています。これか  
ら看護師として新たなスタ  
ートラインに立ちますが、感  
謝の気持ちと学ぶ姿勢を  
忘れず、安心して頼ってい  
ただける看護師を目指し  
て歩み続けていきます。

研究室の先生方や先輩  
方、家族や友人に支えて  
いただき、このような賞を  
いただいたことを大変あり  
がたく思います。今後は  
研究で培った視点を大切  
にしなが、臨床の現場  
でも患者さん一人ひとりと  
丁寧に向き合い、変化し  
続ける医療の中で学び続  
ける医師を目指します。

医学部医学科 渡辺 真魚

一つの問いに  
粘り強く向き合う姿勢を学んだ



薬学部医療薬学科 細田 瑛崇

森村賞  
受賞

この度は森村賞をいた  
だき、大変光栄に思  
います。勉学やスポーツ、課外活  
動に励むことができたのは、  
家族や友人、先生方の温  
かい支えがあってこそで  
あり、その積み重ねが受賞  
につながったと深く感じて  
います。感謝の気持ちを多  
くの方々へ還元できるよう、  
さらに精進してまいります。

人を支えられる人間となり、  
感謝の気持ちを還元したい



リハビリテーション学部理学療法学科 林崎 美月

森村賞  
受賞

先生方や先輩後輩との距  
離が近く、支え合いなが  
ら学べる環境に恵まれ、充  
実した4年間を過ごすこ  
とができました。「心の声に  
寄り添える理学療法士に  
なる」という入学当初から  
の目標を達成するため、  
初心を忘れず、多くの方  
の人生を支えられる存在を  
目指し、精進していきます。

充実した学びを力に、  
心に寄り添う理学療法士へ



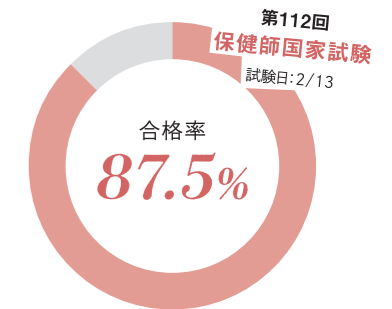
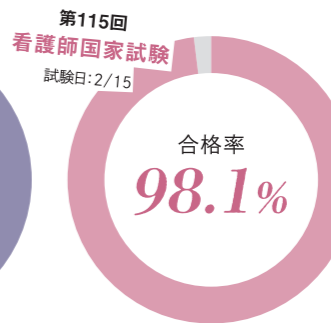
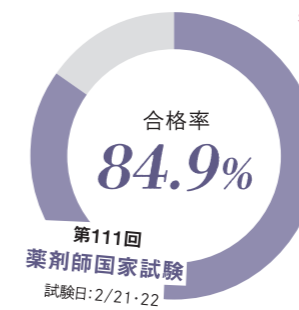
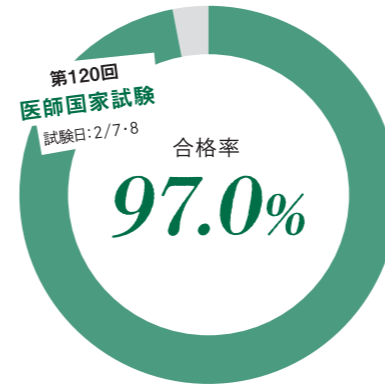
すべての  
受賞者紹介はこちら

## 01 各種国家試験の結果

2025年度に実施されました医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士の  
国家試験結果についてご報告します。本学では、国家試験対策講座などのプログラムはもちろんのこと、  
学生一人ひとりに合わせた対策により、例年高い合格率を維持しています。



試験結果の  
詳細は  
こちらから



## 02 卒業後の進路

### 医学部 医学科

#### 大学病院

兵庫医科大学病院 / 神戸大学医学部  
附属病院 / 大阪医科薬科大学病院 /  
大阪公立大学医学部附属病院 / 大阪  
大学医学部附属病院 / 関西医科大学  
附属病院 / 京都府立医科大学附属病  
院 / 近畿大学病院 ほか

#### 公立・公的病院

兵庫県立淡路医療センター / 神戸市  
立医療センター中央市民病院 / 兵庫  
県立尼崎総合医療センター / 日本赤  
十字社和歌山医療センター / 明石市立  
市民病院 / 宝塚市立病院 / 大阪市立  
総合医療センター / 川西市立総合医  
療センター / 国立病院機構姫路医療セ  
ンター / 地域医療機能推進機構 (JCHO)  
大阪病院 / 地域医療機能推進機構  
(JCHO) 神戸中央病院 ほか

#### 民間病院

千船病院 / 神戸労災病院 / 関西ろう  
さい病院 / 倉敷中央病院 / 一般財団  
法人住友病院 ほか

### 薬学部 医療薬学科

#### 大学病院

兵庫医科大学病院 / 大阪医科薬科大  
学病院

#### 公立・公的病院

加古川中央市民病院 / 神戸市立医療  
センター中央市民病院 / 国立病院機構  
近畿グループ ほか

#### 民間病院

社会医療法人渡邊高記念会 / 医誠会  
国際総合病院 / 西宮渡辺病院 ほか

#### 調剤薬局・ドラッグストア

イオンリテール株式会社 / クォール株  
式会社 / 株式会社インホールデン  
グス(アイングループ) / 株式会社アル  
カ(アルカ調剤薬局) / 株式会社メ  
ディカルシステムネットワーク(なの花薬局)  
/ 総合メディカル株式会社 / 日本調剤  
株式会社 / ウエルシア薬局株式会社  
/ 株式会社アカカベ / 株式会社ココ  
カラファインヘルスケア / 株式会社サ  
ンドラッグ / 株式会社スギ薬局(旧阪神調  
剤含む) / 株式会社ツルハ / 株式会社  
マツモトキヨシ ほか

#### 企業・その他

塩野義製薬株式会社 / 株式会社スズ  
ケン ほか

### 看護学部 看護学科

#### 大学病院

兵庫医科大学病院 / 大阪大学医学部  
附属病院 / 関西医科大学附属病院 /  
近畿大学病院 / 神戸大学医学部附属  
病院 ほか

#### 公立・公的病院

宝塚市立病院 / 兵庫県立西宮病院 /  
加古川中央市民病院 / 神戸市立医療  
センター中央市民病院 / 兵庫県立淡路  
総合医療センター / 兵庫県立淡路医  
療センター / 兵庫県立がんセンター /  
兵庫県立こども病院 / 兵庫県立はり  
ま姫路総合医療センター / 神戸赤  
十字病院 / 日本赤十字社和歌山医療セ  
ンター / 国立病院機構姫路医療セ  
ンター ほか

#### 民間病院

明和病院 / 医誠会国際総合病院 / 北  
野病院 / 甲南医療センター / 淀川キ  
リスト教病院 ほか

#### 行政・公務員

宇陀市 / 神戸市

### リハビリテーション学部 理学療法学科

#### 大学病院

兵庫医科大学病院

#### 公立・公的病院

北播磨総合医療センター / 神戸市立  
医療センター中央市民病院 / 西神戸医  
療センター / 兵庫県立はりま姫路総合  
医療センター / 地域医療機能推進機  
構 (JCHO) 大阪病院 ほか

#### 民間病院

社会医療法人愛仁会 / 社会医療法人  
渡邊高記念会 / 社会医療法人甲友会  
/ 北野病院 / 甲南医療センター / 医誠  
会国際総合病院 / 川崎病院 / 松下記  
念病院 / はくほう会セントラル病院 / 神  
戸リハビリテーション病院 / 千里リハビ  
リテーション病院 / 吉田病院 附属脳血管  
研究所 / 姫路聖マリア病院 / 順心神  
戸病院 / 神戸大山病院 / 順心リハビ  
リテーション病院 / 東大阪病院 ほか

#### 行政・公務員

兵庫県

#### その他・企業

大塚商会 / 兵庫県社会福祉事業団

### リハビリテーション学部 作業療法学科

#### 大学病院

兵庫医科大学病院

#### 公立・公的病院

川西市立総合医療センター / 市立朝  
波総合病院 / 兵庫県立はりま姫路総  
合医療センター ほか

#### 民間病院

関西ろうさい病院 / ポートアイランド病  
院 / ときわ病院 / 神戸平成病院 /  
ハートランドしづきさん / 西記念ポ  
ートアイランドリハビリテーション病  
院 / 西広島リ  
ハビリテーション病院 / はくほう会加  
古川病院 / 摂南総合病院 / 三田西病  
院 / 甲南医療センター / 社会医療法人  
愛仁会 / 吉田病院 附属脳血管研  
究所 / 姫路聖マリア病院 / 順心リハビ  
リテーション病院 / 順心リハビ  
リテーション病院 / 神戸大山病院 ほか

#### その他・企業

合同会社 MIRAIKU(児童発達支援  
mico mico) / 兵庫県社会福祉事業  
団 / 介護老人保健施設サンライズ

※一部抜粋

繋げ、  
兵医の  
メッセージ

# EMPOWER THE Baton

EMPOWER THE PEOPLE ~心に響く医を、私たちがいる限り~  
兵庫医大のスローガンで考える、自分のこと、兵医のこと。

vol.  
5

好奇心を持つことは、  
学部教育や研究活  
動の原動力だと考  
えています。私はその  
きっかけを生み出す  
役割でいたいと思っ  
ています。



明るさと笑顔で周囲  
を包み、患者さんにも  
仲間にも安心を届  
けたい。私がいるこ  
とで、その場が少し  
でも温くなる存在を  
目指します。



学んだ知識や出会っ  
た方々をさまざまな形  
で結びつけながら、  
人やグループをつな  
ぎ、将来は医療を支  
える存在になれたら  
と思います。



スタッフ同士やご利用  
いただく方々、ふれ  
あいの形は違っても  
“人と人のつながり”  
を大切に、みんな  
が笑顔でいること  
のできる環境づくりに  
貢献したいです。



媒体制作や高校訪問  
などを通して、本学  
の教育や医療の魅力  
を、受験生や保護者、  
高等学校の先生方に  
正確に分かりやすく  
伝えていきます。



日々進化していく医  
療や機器についての  
知識、操作技術を磨  
くことで医療の質を  
向上させ、医療のサ  
ポートをしていきま  
いす。



あの人の **素顔** に迫る。



# 今月の プロフェッショナル。

看護職として、  
人を育てる現場にかかわり続けたい



## 01 看護観を変えた阪神・淡路大震災

医療技術短期大学を卒業してからずっと看護職として働いてきました。最初に配属されたのは救急の現場でした。その後、小児病棟に配属となりNICUと病棟で勤務しました。もっとも、はじめからこの仕事を強く望んでいたわけではなく、大学受験を控えたころに、たまたま推薦で看護学部合格したことが、この道に進むきっかけになりました。そんな私の看護観が変わった最初のできごとが、1995年の阪神・淡路大震災です。救急にいた私は、そのとき初めてトリアージの現場に立ち会いました。限られた医療資源のなかで命の優先順位を決めていく。概念として知ってはいたけれど、そのことを実際に体験することになった

のです。それまで私は、「病院に来れば誰もが平等に治療を受けられる」と思っていましたし、実際、平時の医療はそういうものでした。けれども災害の現場では状況が大きく異なります。医療資源が限られるなかで、救える命を見極め、優先順位をつけて対応していく。その判断に現場の医療職が関わる現実を痛感しました。実際に、重症度や救命の可能性に応じて搬送や対応が振り分けられていく様子を目の当たりにし、「こういう現実が本当にあるんだ」と突きつけられたあの体験は今でも心を揺さぶります。

## 02 小児科で出会った ある子どもとご両親

もうひとつ、心に残っている患者さんとの出会いがあります。中学生のときに血液の病気を発症したお子さんが、再発して、当時私が勤務していた病棟に入院してきました。状態は病棟で診るにはかなり厳しく、ICUに移るという選択肢が出てきました。小児科でも、ある程度の年齢になれば病気のことを本人にも話します。その子にも、病棟に残るかICUに移るかの選択が委ねられました。その子は「ICUに行ってがんばる」と言い、私はいっしょにICUへ向かったのです。でも、その数時間後、急変したと連絡が入り、結果としてその子は助かりませんでした。主治医



と私には、「ICUに行かせてよかったのだろうか」という思いが残りました。もし最期になるのなら、家族と過ごす時間をつくってあげたほうがよかったのではないかと思ったのです。そんな思いから泣いてしまった私たちに、ご両親は、「ICUに行くのもあの子が決めたことです。後悔はありません」と言われました。患者さんの意思だったと言葉にするのは簡単ですが、本人の気持ち、ご両親の思いは本当にそれでよかったのだろうかと深く考えさせられるできごとでした。その後、私は小児救急看護認定看護師の資格を取得しました。部署異動があっても子どもたちに関わる現場にいたい。そんな思いがあったからです。

## 03 教育を通じて医療のあり方を伝える

今は臨床教育統括センターで教育に関わる仕事をしています。ひとつは看護師特定行為研修の指導教員です。高度化・複雑化する医療現場のタスクシフト・タスクシェアに対応できる人を育てるため、院内・院外の看護師たちに新しい知識や考え方を伝えています。もうひとつは「IPE(多職種連携教育)」に関わる仕事です。チーム医療や多職種連携を進めるため、臨床と教育の橋渡し役として実習や講義に携わっています。臨床の現場と違い、教育は成果がすぐに目に見えるものではありません。特に

IPEでは、まだ医療現場を経験していない学生たちが、学んだことを実際に使ってくれて初めて成果につながります。そのため、自分がやっていることがどのように役に立っているのか試行錯誤することもあります。多職種連携という言葉は、私が学生だった頃にはほとんど耳にすることがありませんでした。でも今は、医師や看護師だけでなく、さまざまな職種が力を合わせて患者さんを支えています。ひとつの職種だけで患者さんを診ることはできない。そうした医療のあり方を伝えていけたらと思っています。



湯浅 真裕美 YUASA MAYUMI

兵庫医科大学  
臨床教育統括センター  
看護師長  
小児救急看護認定看護師

医療技術短期大学看護学部卒業。兵庫医科大学病院看護部に入職し、救急部門を経て小児病棟に配属。2024年4月から同センターで看護師特定行為研修や多職種連携教育(IPE=Interprofessional Education)に携わる。趣味はアンティークの食器を集めること。オフにはお気に入りの器でお茶を飲んだり、図書館で過ごす時間を楽しむ。

# HYO-INNOVATION

— 明日の医療を支える、知の挑戦 —



社会が、未来がより良くなるために、  
いったいどんなことについて  
研究しているのだろう。  
先生の頭の中、のぞかせてください！



井石 智也

ISEKI  
TOMOYA

兵庫医科大学 整形外科 講師

兵庫医科大学医学部医学科卒業、兵庫医科大学大学院 医学研究科修了。2016年～2019年ピッツバーグ大学 Center for Cellular and Molecular Engineeringに留学。専門分野は整形外科。研究テーマに「変形性膝関節症に対する間葉系幹細胞(MSC)の除痛メカニズムの解明」、「自己生体組織接着剤の軟骨関連細胞の分化・増殖に関する研究」などがある。

This month's

研究  
内容

留学先で出会った**再生医療**研究。  
**変形性膝関節症**の新たな治療を目指して

01

“ 急速に広がりつつある  
第3の治療法 ”

— 再生医療 —

変形性膝関節症とは膝の軟骨がすり減り、強い痛みや動かさづらさを引き起こす疾患である。既に症状を伴う顕在患者数は国内で約800万人。痛みなどの自覚症状はないものの、画像検査で変形が確認される潜在患者数は約2,500万人になると言われ、井石講師は「これはもはや、国民病のひとつ」と話す。治療法はまず関節内注射や疼痛コントロール、筋力トレーニングなどの保存治療から始まり、症状が進むと人工関節置換術や骨切り術の手術が検討される。そうした中、近年、第3の治療法として急速に広がりつつあるのが、患者自身の血液や幹細胞を用いる「再生医療」である。井石講師は整形外科領域でこの再生医療に力を注いでいる。「アメリカ留学で偶然入った研究室が変形性膝関節症の再生医療の基礎研究をしていたんです」。それがこの研究に取り組むきっかけとなり、帰国後も臨床

をしながら研究を続けている。実は、兵庫医科大学は、再生医療のひとつである自家培養軟骨移植術(ジャック)において、国内での症例数が群を抜いている。<sup>\*</sup>この治療法は、若年層の外傷による軟骨損傷には移植がスタートしていたが、中高年齢者の変形性膝関節症に適用できるかどうかについては長く調査の対象となっていた。井石講師はその臨床研究に携わったひとりである。2026年1月、ジャックは変形性膝関節症に対する治療として公的医療保険の対象となり、患者の期待が高まっている。

※2026年1月～6月の全国症例のうち35%を担う  
(膝周囲骨切術併用を含む/手術予定も含む)



02

“ 患者さんの  
治療後を追う責任 ”

— 予後の検証・評価 —

「自家培養軟骨移植術(ジャック)」が手術による再生医療であるのに対し、「幹細胞治療」と「PRP療法」は注射によって行う再生医療である。手術に比べて身体への負担が小さいことから、侵襲の少ない治療法として注目されている。井石講師は約3年前から、本学で幹細胞の基礎研究を進めている。「当初はこの研究を行う土壌がなく、研究室を立ち上げ、解析できる環境を整え、研究費を集めるなどゼロからのスタートでした」と振り返る。そんな井石講師の研究の特徴は、軟骨の再生だけでなく、痛みのメカニズムまで含めて再生医療の効果を評価している点にある。変形性膝関節症では、膝関節の変化だけでなく、脊髄を介した神経回路が痛み

の発生に深く関わりとされている。井石講師は痛みが脊髄でどのように伝達されているかを評価できる動物モデルを用い、再生医療の効果を検証している。「変形性膝関節症は結局のところ、患者さんの自覚症状が病状に直結します。つまり、どんなに膝の組織がきれいになっても、痛みが取れなければ意味がないんです」。技術の進歩に伴い、さまざまな治療に再生医療が用いられるようになってきたが、この分野はまだ効果を裏付けるエビデンスが十分とは言えない。井石講師は「治療後に患者さんが実際にどう感じているのかを検証していくことも大学病院の責務」と話す。「兵庫医大の強みは多様な治療法を持っていること。患者さんにとって最適な治療法を選択し、その過程を通じて再生医療の社会実装を目指したい」と先を見る。



This month's  
注目の  
話題

気になるあの研究トピックスにフォーカス!

# HYO-I FOCUS



## 副作用を抑えた効率のよい次世代ワクチンのための基盤を構築 新たなワクチンモダリティの開発に成功



病原微生物学の准教授 小椋 英樹、主任教授 石戸 聡と慶應義塾大学の研究グループは、糖脂質 $\alpha$ -GalCerをアジュバント\*1として活用し、炎症などの副作用を抑えながら効率よくワクチン効果が期待できる、新たなモダリティ\*2の開発に成功しました。本研究では糖脂質抗原分子である $\alpha$ -GalCerと、インフルエンザウイルス由来のペプチド抗原を用い、新たな化学合成法を開発することにより新規自己アジュバント型の抗原複合型分

子を作製しました。さらに、HLA-A\*24:02 transgenic mouse\*3を用いて、日本人に最も多いHLAであるHLA-A\*24:02に特異的に免疫応答を起こすことができる抗原複合型モダリティ分子を開発しました。本成果は、副作用の抑制と高い免疫誘導能力を持つ新たなワクチン設計の基盤を確立するものであり、今後さらに開発を進め早期の臨床治験を目指します。本研究成果は、化学専門誌『ChemBioChem』に掲載されました。

\*1 アジュバント: ワクチンと併用し免疫反応を強力かつ持続的に誘導する免疫補助剤を指す  
\*2 モダリティ: 治療手段の種別 \*3 transgenic mouse: 外部から特定の遺伝子を人為的に導入したマウス



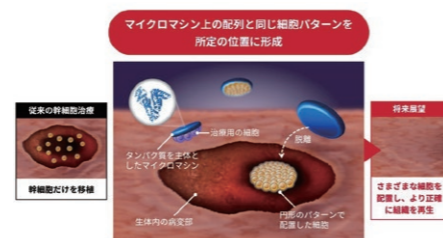
## マイクロマシンを用いて 生体内に望みのパターンで細胞を配置



消化器内科学 主任教授 新崎 信一郎と、国立研究開発法人産業技術総合研究所の研究グループは、タンパク質を主体としたマイクロマシン\*を用いて生体内の所定の位置に望みのパターンで細胞を配置する技術を開発しました。この生体

内細胞配置技術は、幹細胞移植後の組織修復工程を意図的に制御して精密に組織を再生する道を切り拓き、幹細胞を用いた再生医療の前進に貢献すると期待されます。詳しくはQRからホームページにてご確認ください。

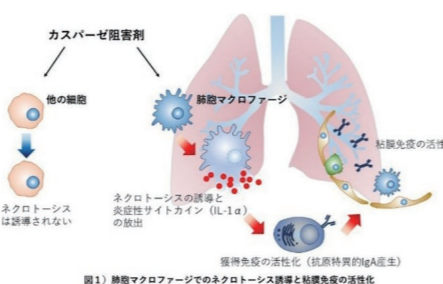
\*マイクロマシン: マイクロメートル( $\mu\text{m}$ )のオーダーの非常に小さなサイズで、自律的または外部制御によって移動し、特定の作業を遂行できる機能を持つマシン。  
今回開発したマイクロマシンは、外部から印加した磁場によって移動し、自律的な移動能は持たない。



## 肺胞マクロファージに選択的に作用する 新たなネクロトーシス誘導物質(カスパーゼ阻害剤)を発見

免疫学 主任教授 黒田 悦史および助教 足立 匠は、肺胞マクロファージに特異的にネクロトーシスを誘導するカスパーゼ阻害剤を発見しました。ネクロトーシスは特定の細胞や刺激に応じて選択的に起こる細胞死であり、本研究ではこれに着目しました。この物質は気道や肺において獲得免疫を効率的に誘導し、抗原特異的

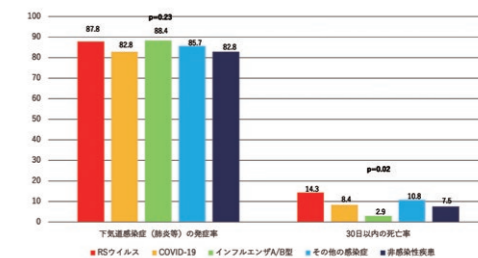
IgAの産生を促進するとともに、インフルエンザ抗原(HA)に対する有効性も確認されました。さらにライブイメージングにより、肺胞マクロファージのネクロトーシスに伴うIL-1 $\alpha$ 放出を可視化することにも成功しました。本成果は、肺胞マクロファージを標的とした新たなワクチンアジュバント開発への応用が期待されます。



## 高齢者のRSウイルス感染、死亡リスクの高さを明らかに ワクチン接種の重要性示唆



社会医学データサイエンス部門 主任教授 森本 剛、助教 森川 暢らの研究グループは、急性呼吸器症状で緊急入院した50歳以上の成人を対象に、多施設共同前向きコホート研究を実施しました。2023年7月から2024年12月にかけて3病院で調査し、RSウイルス(RSV)の有病率と予後とCOVID-19やインフルエンザと比較しました。その結果、RSV感染患者の30日死亡率は14.3%と他疾患より高く、調整後もインフルエンザA/Bに比べて有意に死亡リスクが高いことが示されました。研究期間中はワクチン接種例がなく、予防・治療体制の課題も示唆されました。



## 呼吸サルコペニアが 術後身体機能の回復を遅延させるリスク因子に



大学院リハビリテーション科学研究科 病態運動学 分野(内部障害) 大学院生 清水 和也(博士後課程1年)、准教授 松沢 良太、教授 玉木 彰らの研究グループは、心大血管手術前のルーチン検査であるComputed Tomography(CT)検査と呼吸機能検査を組み合わせることで、「呼吸サルコペニア(呼吸

筋量と呼吸筋力の併存した低下)」を評価し、これが術後の身体機能回復を遅延させるリスク因子であることを明らかにしました。本研究論文は、循環器領域の主要な国際学術誌である『Canadian Journal of Cardiology』に掲載されました。



## COVID-19による面会制限が 家族看護に与えた影響を明らかに



看護学部 准教授 築田 誠らの研究グループは、大学病院および地域の中核病院に勤務する臨床看護師を対象に混合研究法による調査を実施し、家族看護に対する考え方について調べました。結果、多くの看護師が家族看護を専門職として重要だと認識している一方、家族

との関わりにおいて精神的な負担や時間不足などの葛藤を感じていることが明らかに。さらには「コロナ禍の面会制限下でキャリアをスタートさせた看護師(経験3年以下)」と「コロナ前を知る看護師」の世代間で家族看護の能力や認識に差が存在することが示されました。



## 多職種連携教育(IPE)の取り組みが評価 学術集会長賞を受賞



臨床教育統括センター講師 柏 薫里が本学の多職種連携教育(IPE)に関する取り組みを報告し、大学として「学術集会長賞」を受賞しました。本学では、2022年の大学統合を機に、4学部が合同で学ぶ多職種連携教育に一層力を入れてきました。その中核を担う同センターでは、多職種で連携できる人材の育成を目指し、学部の垣根を超えた教育の開発・推進に取り組んでいます。本受賞では、統合後の短期間で、低学年から高学年までの継続的なIPEプログラムを、全学的に実施可能な体制として構築・実践した点が評価されました。



## TOPICS

兵医の注目トピックス



体験を通じて学ぶ

## 4学部合同チーム医療概論を実施

詳しい情報は  
こちらから

2026年2月10、12～13、16日の4日間、4学部の2年生6～7名で構成された混成チームで、チームビルディングや多職種連携の重要性を学ぶ体験型演習を実施しました。「災害関連死を防ぐためには」をテーマに、段ボールベッドや簡易トイレの組み立て、避難所の食事・栄養や災害支援食、口腔ケアなどを体験。これらを踏まえ、避難所の医療・生活支援における課題について討議を行いました。発表会では、多職種の視点を活かした解決策や考察が示され、活発な質疑応答を通じて理解を深めました。本科目を通じて、学生たちは将来の専門職としての自覚を高め、互いの専門性を尊重し協働することの重要性を実践的に学びました。本科目は、臨床教育統括センター、4学部、神戸医学課を中心に、病院・大学各部門の連携のもと実施しています。(協力:日本栄養士会災害支援チーム、兵庫県栄養士会、歯科口腔外科、災害対策支援チーム)

## | プログラム内容

事前学修 • 講義動画視聴(歯科口腔外科領域、救急災害領域)

1日目



- ガイダンス・アイスブレイク
- 講義  
「災害時の対応を学ぶ～防ぎえた災害死・災害関連死・健康二次被害を多職種で防ぐ～」  
「チームで挑む未来のケア～多職種連携(IPW)への招待～」  
「各職種について」
- RAT

2～3日目



- 体験**
- ダンボールベッド組み立て
  - 簡易トイレ組み立て(使い捨てトイレ試用)
  - 口腔ケア、応急処置
  - 避難所の食事・栄養(災害支援食)
  - HUG(避難所運営ゲーム)



- チーム討議

4日目



- 発表会
- まとめ講義
- 総括



PICK UP!

## 避難所の食事・栄養(災害支援食)

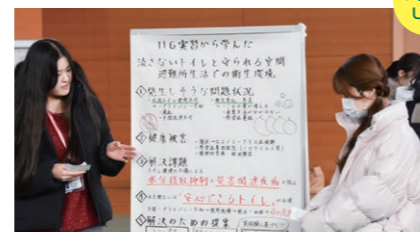
避難所での食事や栄養摂取の工夫に関する講義や、災害支援食の試食を通じて、災害時に不足しがちな栄養素への理解を深めるとともに、限られた環境下でもバランスの取れた食事を確保するための実践的な知識を習得しました。



PICK UP!

## HUG(避難所運営ゲーム)

刻々と変化する状況の中で、情報共有や限られた資源・人員の配置など、協働・連携と判断力の重要性を体験しました。



PICK UP!

## 発表会

体験から避難所の医療・生活支援における課題について討議し、ポスターを作成し発表しました。

## NEWS

兵医の気になるニュース

2026年度  
兵庫医科大学 入学式

2026年4月5日、神戸ポートピアホテルにて入学式を挙行了しました。医学部112名、薬学部109名、看護学部106名、リハビリテーション学部 理学療法学科46名、作業療法学科47名、大学院 医学研究科36名、薬学研究科3名、看護学研究科9名、リハビリテーション科学研究科17名の総勢485名の新生が一堂に会し、期待と緊張が入り混じる中、それぞれが新たな一歩を踏み出しました。新入生一人ひとりの今後の活躍が期待されます。

高校生の探究成果が集結  
「High School Awards 2025」開催

2026年3月20日、高校生が医療や生命科学、福祉等に関するテーマについて探究の成果を発表する「HMU High School Awards 2025」成果発表会を開催しました。全国の高校・中等教育学校から30組の応募があり、一次審査を通過した、兵庫や大阪、京都、鳥取などの15校23組が会場審査に臨みました。高校内の身近な課題から社会的課題まで、さまざまな探究テーマの発表が行われ、大学教員を中心とした審査員によるスライド審査が実施されました。グランプリには兵庫県立兵庫高等学校の「腰から始まる姿勢革命」が選ばれたほか、準グランプリや審査員特別賞も授与されました。



西宮キャンパス

## 「2025年度医学部退職記念講演会」を開催



2026年3月5日・6日の2日間、2025年度末で定年退職を迎える医学部教授による記念講演会を開催しました。長年にわたり教育・研究・診療に尽力してきた教授らが、それぞれの歩みや研究成果、後進への思いなどを語り、多くの教職員や学生が熱心に耳を傾けました。講演会終了後には、これまでの功績への感謝の気持ちを込めて花束が贈られ、会場は温かい拍手に包まれました。



## NEWS

兵医の気になるニュース



## 2026年度 入学者選抜を実施

2026年度入学者選抜より、医学部に「エキスパート養成入試(総合型選抜)」を新設。合格者は本学の特定診療科医師養成奨学制度に基づく貸与契約を締結し、卒業後に指定診療科で一定期間勤務することで返還が免除されます。あわせて、リハビリテーション学部では併願制を導入し、薬学部・看護学部等でも試験科目を見直しました。

2026年度入試結果はこちらから



CHECK!



## 優秀レクチャー賞・ ベストティーチャー賞が決定

優秀レクチャー賞では、学生によるアンケートをもとに教育の向上に貢献した教員を顕彰するほか、医学部の総合試験における優れた作問やブラッシュアップの取り組みを評価します。医学部ベストティーチャー賞は、臨床実習評価の結果に基づき、優れた教育を行った教員に授与されます。詳しくはQRからホームページにてご確認ください。

## ▼受賞部門

【優秀レクチャー賞】授業科目部門10科目、作問部門1名、ブラッシュアップ部門1名  
【医学部ベストティーチャー賞】講義部門(1~4年)各1名、臨床実習短期コース1名、臨床実習長期コース1名

優秀  
レクチャー賞ベスト  
ティーチャー賞

## 高校生向け 「作業療法室見学会」を開催



2026年3月26日、高校生を対象に「作業療法室見学会～作業療法士の魅力を知る～」を開催しました。作業療法士の養成校では定員充足率の低下が課題となる一方、医療の高度化や高

齢化の進展により、その役割は広がっています。見学会には約33名の高校生と保護者が参加し、座学や見学ツアー、当院で勤務する卒業生による発表、質疑応答を通して作業療法士への理解を深めました。



## 臨床ニーズを社会へつなぐ 医工連携講演会を開催



2026年3月10日、兵庫県立大学との包括連携協定締結を記念し、同大学の小橋 昌司教授を招き医工連携に関する講演会を開催しました。AI・画像解析やIoT分野の第一人者である

同教授は、本学との共同研究の紹介を交えながら、臨床ニーズをいかに社会実装へつなげるかについて講演。医療と工学の融合による新たな価値創出や実用化に向けた視点が示されました。



## 若手研究者の優れた成果を顕彰 学術賞受賞者が決定



国際的な評価が高い研究を行った研究者に対して学術賞を授与しました。この賞は若手研究者の研究の奨励を目的としており、教員および大学院生に贈られます。

## ▼受賞者(所属・役職は受賞時のもの)

【医学部 消化器外科学 上部消化管外科】講師 中村 達郎  
【医学研究科 医科学専攻 器官・代謝制御系 循環器病学】大学院生 砂山 勇  
【リハビリテーション科学研究科】大学院生 清水 和也



CHECK!



## 「2025年度放射線教材コンテスト」にて 薬学部生が最優秀賞を受賞



公益財団法人日本科学技術振興財団が主催する「2025年度放射線教材コンテスト」において、薬学部5年生2名(当時)が最優秀賞を受賞しました。本学の受賞は6年連続となります。本コン

テストは、放射線に関する正確な知識や技能の普及啓発を目的としたもので、中高生向けの実演は参加者から高い評価を受け、電気新聞(1月8日付朝刊)にも掲載されました。



CHECK!



## 兵庫医科大学ささやま医療センター等の 経営移譲 最終合意書を締結



学校法人兵庫医科大学は、兵庫医科大学ささやま医療センター、ささやま老人保健施設及びささやま居宅サービスセンターの経営移譲にかかる事業・資産の譲渡に関して、2026年3月27日に丹波篠山市、医療社団みどり会にしき記念病院(理事長 井手 通雄)との3者間で最終合意書を締結。7月に予定している経営移譲に向けて連携しながら準備を進め、円滑かつ万全な引継ぎに努めてまいります。



## 共同研究の推進に関する協定を締結 本学薬学部と神戸市立医療センター 中央市民病院薬剤部



本学は神戸市立医療センター中央市民病院と、両機関の薬学部・薬剤部の共同研究の推進のために協定を締結。2026年3月18日に同院にて行われた締結式では、本協定に期待することについて互いに意見を述べた後、協定書にサインを行いました。今後は両者が相互に連携し、共同研究を推進することにより、薬学的知見の深化および人材の育成を図ってまいります。



## 『Hyogo Innovative Challenge』 研究の進捗と展望を共有 HICキックオフセミナー



『Hyogo Innovative Challenge』は、本学のブランドとなる研究の創出と、その支援を通じて医療・産業・地域への貢献を目指す独自の事業で、2025年9月より学内から新たに研究テーマを募集し大学プロジェクト研究として開始しました。研究責任者である遺伝学大村谷主任教授より概要の説明があり、各研究テーマについて進捗と今後の展望について発表。セミナーには教職員64名が参加しました。



## 漢方診療センターを開設 一人ひとりの体質に寄り添う オーダーメイド医療



2026年4月、当院に漢方専門外来「漢方診療センター」を開設。患者さん一人ひとりの体質や症状に応じたオーダーメイド処方を行います。院内及び院外からの紹介も受け付け、幅広い疾患や

体質改善に取り組んでまいります。日本東洋医学会認定漢方専門医である中島 正光教授をセンター長に迎え、診療体制の充実・漢方専門医の育成にも取り組んでいきます。



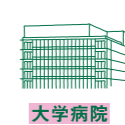
CHECK!



## 文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究 環境実現イニシアティブ」最終年度、6年間の 取り組みを総括するシンポジウムを開催



令和2年度文部科学省の補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」に採択され、女性医師・研究者の活躍促進や多様な価値観・働き方を尊重する組織づくりを推進してきました。シンポジウムでは6年間の事業成果報告に加え「ダイバーシティプロジェクト教員制度」採択者による研究成果報告、広島大学 蓮沼 直子 教授による基調講演が行われ、教職員21名、オンラインでは15名が参加しました。



## 教科書『臨床栄養学 第7版』解説動画に 当院の栄養サポートチームが出演



看護学部 准教授 築田 誠が執筆・編集を手がけた教科書『臨床栄養学 第7版』(2026年1月20日出版)の解説動画に、当院の栄養サポートチーム(NST)が出演しました。本書

は看護の視点から臨床に活かせる栄養学を学べる内容で、NSTは栄養食事指導および栄養ケア・マネジメントの分野で協力しています。



CHECK!

# INFORMATION

法人からのお知らせ

## 2026年度 学校法人 兵庫医科大学 事業計画・予算

2026年3月26日開催の理事会において、学校法人兵庫医科大学の2026年度事業計画(重点施策)および2026年度予算が以下のとおり決定しました。

### 事業計画(重点施策)

#### 兵庫医科大学

- 質の高い入学生確保と学部教育の充実及び教育環境の整備

#### 兵庫医科大学病院

- 新病院棟移転後の適正病床運営を見据えた、特定機能病院としての体質強化
- 安全な新病院棟への移転および移転後における迅速な運用改善

#### 法人

- 新病院棟開院を契機とした病院の認知度の向上

### 予算

#### 1 | 概要

2026年度予算は、事業活動収支予算における基本金組入前当年度収支差額として1,031百万円(前年度補正予算比+376百万円)を計上しました。新病院棟への移転に伴う医療収入の減少や、物価高騰に伴う業務委託費の増加などの影響がある中、当該収支差額を確保しています。

#### 2 | 事業活動収入

法人全体で62,364百万円(前年度補正予算比+47百万円)を計上しています。主な収入源として、授業料などの学生生徒等納付金を7,139百万円、医療収入を46,437百万円計上しました。その他の特別収入として、開学50周年事業募金等に係る受配者指定寄付金収入として、約20億円を見込んでいます。

#### 3 | 事業活動支出

法人全体で61,332百万円(前年度補正予算比-329百万円)を計上しています。物価高騰に伴い業務委託費が増加しているほか、新病院棟の完成や、医療機器、情報システムの更新に伴い、減価償却費が大幅に増加しています。

※「基本金組入前当年度収支差額」とは事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもので、企業の損益計算書における「当期純利益」に相当します。

#### ● 収入の部

(単位:百万円)

科目	2026年度	2025年度	増減額	
教育活動	学生生徒等納付金	7,139	7,128	11
	手数料	244	240	4
	寄付金	863	595	268
	経常費等補助金	2,801	2,145	656
	事業収入	1,489	1,492	▲3
	医療収入	46,437	49,615	▲3,178
	雑収入	614	741	▲127
	教育活動収入計	59,587	61,955	▲2,369
教育活動外	受取利息・配当金	285	290	▲5
	教育活動外収入計	285	290	▲5
特別収入	資産売却差額	17	3	14
	その他の特別収入	2,745	68	2,677
	特別収入計	2,762	71	2,691
事業活動収入計	62,364	62,317	47	

#### ● 支出の部

(単位:百万円)

科目	2026年度	2025年度	増減額	
教育活動	人件費	22,551	23,849	▲1,297
	教育研究経費	4,109	4,054	55
	医療経費	27,343	27,362	▲19
	管理経費	1,524	1,237	287
	減価償却額	4,916	3,389	1,527
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	60,443	59,890	553
	教育活動外	借入金等利息	669	32
教育活動外支出計		669	32	637
特別支出	資産処分差額	20	52	▲32
	その他の特別支出	0	1,487	▲1,487
	特別支出計	20	1,539	▲1,519
予備費	200	200	0	
事業活動支出計	61,332	61,661	▲329	
基本金組入前当年度収支差額	1,031	655	376	

※2025年度予算は補正予算を掲載しています。

## 兵庫医科大学 開学50周年記念事業募金 状況報告

「兵庫医科大学開学50周年記念事業」のための募金活動は、3月31日をもって終了いたしました。教職員・名誉教授の方々をはじめとして、後援会(保護者)、同窓会(緑樹会、海泉会)、企業等法人、関連病院など幅広い方々から温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。ご協力賜りました方々のご芳名を大学広報に掲載させていただき、改めて感謝の意を表したいと存じます。

(~2026.3.31)

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	253	1,019,890,000円	735	365,436,888円	988	1,385,326,888円
入金	253	1,019,890,000円	735	365,411,888円	988	1,385,301,888円

### 寄付申込者ご芳名・法人名一覧(順不同)

**企業等法人** 株式会社メイマネジメント様[1,000,000円]/株式会社ストレッチアークみ薬局様/株式会社テクノワークス様/日清医療食品株式会社様 他匿名3法人

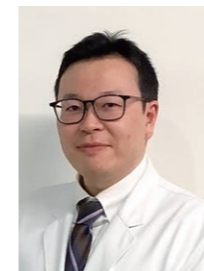
**緑樹会** 藤木 宏也様 他匿名1法人、1名 **保護者** 松浦 敏文様 **名誉教授** 中西 憲司様

**その他個人** 米原 正純様[50,000円]/松田 典久様[5,000円]/松田 八代子様[5,000円]/東 美喜子様/紙崎 純子様/合志 彰様/清野 征男様 土橋 芳邦様/前田 美和子様/本山 高也様/本山 孝行様/本山 正子様/本山 道子様/山本 栄子様 他匿名3名

**教職員等** 高倉 徹様[50,000円]/飯塚 崇文様/池本 純子様/五味 文様/櫻井 恵一様/櫻井 めぐみ様/太城 力良様/辻野 健様/藤原 仁美様 藤原 康宏様/松田 育雄様/南 征吾様/本山 佑子様/山崎 尚様 他匿名7名

(2025.11.1~2026.3.31)

## 人事情報 2025年12月1日~2026年4月1日付



リハビリテーション医学主任教授  
リハビリテーション科診療部長/リハビリテーションセンター長

### 内山 侑紀

このたび、リハビリテーション医学講座主任教授を拝命いたしました。リハビリテーション医学のさらなる発展に努めるとともに、本学の特色である多職種連携を活かした大学病院における診療および教育活動に、全力で取り組んでまいります。今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



形成外科学主任教授  
形成外科診療部長

### 河合 建一郎

このたび兵庫医科大学形成外科の主任教授を拝命いたしました。これまで培ってきた伝統と実績を礎に、質の高い標準治療を提供するとともに、関連診療科や地域医療機関との連携を一層強化してまいります。また、次世代を担う医師の育成と臨床に根ざした研究の推進にも力を注ぎ、社会に貢献できる教室づくりに努めてまいります。



リハビリテーション学部理学療法学科教授

### 賀屋 光晴

このたび、リハビリテーション学部の教授を拝命いたしました。担当科目の特性を活かして、学生間だけでなく学部間での交流をさらに深められるような環境づくりに取り組んでまいります。また、研究や社会貢献にも一層励み、大学の発展に尽力してまいります。今後とも変わらぬ指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



薬学部教授  
(衛生薬学分野・薬物中毒治療学)

### 北中 純一

このたび薬学部教授を拝命し、身の引き締まる思いです。自身が受けてきた薬学教育と基礎研究に真摯に取り組む大学の発展に寄与するとともに、化学物質管理に関する専門知識を国内外の行政に正しく反映させることを自らの使命と受け止めています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



小児外科診療部長  
消化器外科学臨床教授

### 田附 裕子

小児外科医には外科医としてのスキルに加え、成長や発達も見据えた全身を見渡せる総合的な知識や判断力が求められます。地域の医療機関と手を携え、困ったときに真っ先に思い出しいただける安心と信頼の小児外科医療を実践してまいります。更に教育・研究・臨床を通じ後進の育成に力を注ぎ、未来を担う人材を育ててまいります。